

科目責任者 林 弘美 (英語・英語学研究室)

■ 教育目的

薬剤師、薬学研究者、医療従事者として、将来、仕事上で英語を使う場合に実際に必要となるのは、口語の場合も文章の場合も、専門的な用語・表現であろう。薬学の中でもさまざまな分野において、その分野特有の専門用語や専門的表現がある。それぞれの分野の特殊な用語や表現を習得し、同じ専門家同士で理解を深め、コミュニケーションができるようになることがこの科目の目的である。下記テキストを用いて、現在の医療と社会の諸問題を理解し、あるべき医療の姿を考え、医療人としてのものの考え方、倫理観、態度を養う。

■ 学習到達目標

1. 英語で書かれた科学、医療に関連する著述の内容を正確に説明できる。(知識・技能)
2. 科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
3. 科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。(知識・技能)
4. 英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。(知識・技能)
5. 英語による日常会話での質疑応答ができる。(知識・技能)
6. 主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。(知識・技能)

■ 準備学習 (予習・復習)

予習：授業予定の章の英文をテキスト付属の音声データを聞きながら読み、分からない単語や事柄を辞書や専門科目の教科書、あるいはインターネットなどで調べる。練習問題に自分で取り組む (50分以上)。

復習：学習した英文を読み直し、不明なところがないようにする。練習問題の内容も確認する。関連する分野の英文をインターネットや図書館の雑誌で探して読んでみる。また、インターネットやテレビのBS/CS放送などで外国の英文ニュースを視聴する (60分以上)。

■ 授業内容

- 医療・生命科学・薬学各分野の英文を読み、正確な読解と速読ができるようにする。
- 医学用語の成り立ちを理解し、専門的英語に特徴的な語法を学ぶ。
- 英文法と語法に適った英文を作り、英語の文章にふさわしいパラグラフ構成を理解できるようにする。
- 医療場面で必要な英語の表現を身に付け、医療英語の発音を練習して、相手の気持ちに配慮した応答ができるようにする。

テキストで取り上げられている英文のテーマ

8. Health and fitness
9. Food and nutrition
10. Drugs and human body
11. Human immunity
12. Humans and their environments
13. Food issues and human health
14. Genetics

■ 授業分担者

A組 1班：山戸 衣絵、A組 2班：稲田 俊一郎、A組 3班：林 弘美
B組 1班：稲田 俊一郎、B組 2班：山戸 衣絵、B組 3班：林 弘美
C組 1班：須田 篤也、C組 2班：林 弘美、C組 3班：稲田 俊一郎

■ 課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法

- ・練習問題や小テスト等により理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。
- ・講義に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・定期試験 (90%) および小テスト (10%) で総合評価する。

■ 教科書

『CLIL 英語で学ぶ身体のおしくみと働き』 笹島 茂 他 著 (三修社)

■ その他

MY-CAST を利用して、医療・薬学領域に関する英語の情報をお伝えします。授業以外にも活用してください。